

会 議 議 事 録

1	会議名	第6回長岡市スポーツ施設整備基本構想委員会
2	開催日時	平成20年10月1日 午後6時30分から8時15分まで
3	開催場所	長岡市市民体育館会議室
4	出席者名	委員：山本委員長、大橋副委員長、金澤委員、篠田委員、立川委員、西原委員、矢野委員、山田委員、和田委員
5	欠席者名	小林委員、高野委員、丸山委員
6	議題	(1) 長岡ニュータウン運動公園整備計画（案）について 資料No.1 (2) スポーツ施設整備基本構想について 資料No.2
7	審議結果の概要	長岡ニュータウン運動公園についてのコンセプトを確認し、スポーツ施設整備基本構想の骨子について検討した。
8	審議の内容	
	事務局	○議題 (1)長岡市ニュータウン運動公園整備計画（案）について 関係団体等のヒアリングを実施しながら施設内容について検討した。 今回はコンセプトとなる骨子をまとめたので確認いただきたい。
	委員	クラブハウスについては、子供たちが宿泊できるような施設整備を視野に入れてもらえればありがたい。子供たちの横のつながりができる。
	事務局	サッカーなどの役員用諸室の他に、畳の和室などスペース的には対応できるが、食事の関係や消防法の問題なども含めて検討したい。
	委員	サッカー場であるが、天然芝と人工芝のコスト面はいかがであるか。
	事務局	コストについては、長い目で見れば概ね一緒だと思う。しかし、稼働率や管理の問題を考えると人工芝が優れていると思う。 先生方の意見は重々お聞きしており、天然芝の重要性は認識しているので、サッカー場の脇に天然芝の広場を整備したい。
	事務局	人工芝についても、性能が良くなっておりメンテナンス面も向上している。一昔前よりは天然に近くなり、費用的にもリーズナブルになっている。 最近ではリサイクルなど環境面でも配慮されてきている。
	委員	障害者スポーツにも利用できるようにしてはどうか。
	委員	具体的にはないが、障害者スポーツについて文言として入れられないか。
	事務局	工夫して表現したい。
	委員	多目的グラウンドであればフライングディスクができるし、障害者の車椅子野球場としても使える。障害者スポーツと協力してはどうか。
	委員	多目的グラウンドについては、マウンドを作るのか。
	事務局	マウンドについては、少年野球、一般の野球等によってマウンドの位置が違う。ベースやバックネットを移動できるものにしたたり、最近、移動式のマウンドもあるようなので、色々使えるように研究したい。
	委員	ぜひお願いしたい。
	委員	ナイターについては、周辺住民との話し合いはあるのか。 クラブハウスは、地域住民の方にも使ってもらおうという視点が大切である。

事務局	会議室は、試合の際の監督者会議などにも使え、地域の方も使える。 また、和室は、地域の方の集会や、ごこ寝でよければ宿泊としても使えるのではないかな。
委員	和室は良いが、宿泊施設として使う場合、宿泊施設として必要なものがあるのではないかな。管理運営上、宿泊施設として使う場合はどうなのかな。火災対策などのこともあるのでは。
事務局	風呂や厨房などの計画はない。食事や布団などについてはどうか。
委員	高校では、教室くらいの小さいスペースに小さい台所がある位の合宿場に泊まっている。布団などは貸し出しを利用している。風呂はシャワーがあれば十分ではないかな。
委員長	合宿は小中学生が利用するイメージか。
委員	そうである。
事務局	宿泊機能については今後も検討していきたい。
	(2) スポーツ施設整備基本構想について
委員	個人利用は良いと思うが、インターネットによる施設予約について、新潟市で導入を始めたとき、スポーツ団体が予約を全て入れてしまい、個人利用が減ってしまった。長岡ではどうかと思うが、目の前で施設が空いているのに利用できないなどの支障が出ている。財源が限られた中でのシステムの導入はどうか、必ずしもうまくいかないと思う。
事務局	システムの問題点は認識している。今、言われたような問題は発生していないが、その他にも様々な問題があるようである。 現状としては、予約システムだけでなく、窓口や電話を通してという利用者が多い。具体的な対応については今後考えたい。
委員	インターネットだと、最後は抽選になり、抽選の確認も自分で行わなければならないため非常に時間がかかる。申し込む人も減っているようであり、平日はガランとしている。抽選の確定確認を忘れると利用ができなくなる。
事務局	長岡市では、抽選できる機能もあるが、公民館利用だけである。 スポーツ施設では現在使っていない。
委員	施設利用に関することであるが、公民館やスポーツ施設の利用率はどこも高いようである。コミセンなども決まった予算の中での運営となるため、利用が限られると思うが、面白みのある活動の指導をお願いしたい。
委員	個々の健康促進や地域コミュニティを暖めて、スポーツ振興を育てたいという思いがある。地域コミュニティを通じた市民の身近な施設が非常に大切である。施策の3番目である身近なスポーツをおろそかにしないで大切にしてもらいたいと思う。
事務局	市としても地域コミュニティを大切にしていきたい。しかし、施設整備については、ソフトに併せたハード整備計画があるため、これをトップに書きたいという気持ちもある。 一方で、青葉台地区では、コミュニティセンターを整備してほしいとの要望があるが、合併したすべての地域で造ることは大変である。既存の施設を活かし改善しつつ、地域コミュニティの核になるようにしたい。非常に悩んでいる部分でもあり、各合併地域では、長岡地域にあるコミュニティセンターを他地域でも欲しいとの要望がある。しかし、利用状況を考えると長岡地域だけの整備になるのかなと思う。

委員	この委員会は施設に関する委員会であるが、ソフト、人材育成ということにもからめてもらいたい。人材バンクに登録して、人材を養成し、地域に派遣することを地道に展開することが必要かなと思う。
事務局	スポーツ振興課においてもぜひ進めていきたい。 利活用のための備品整備などについて記述しているが、人材活用も含まれる。
委員	指定管理者についても指導者がいてこそである。地元の活性化にもつながる。地域には色々な人材がいるのであり、そういう人たちを雇用していくことにもつながる。
委員	レベルの高い大会への対応も必要。必要に応じた整備方針ということで、整備・改修を進める時に、例えば栃尾を武道の拠点にするなどして、トップアスリートを育成してほしい。オリンピックの出場者ができれば地域の活性化にもつながる。
事務局	両方の意見をうまく表現していきたい。
委員	オリンピックでは、中村選手の活躍によって水泳人口が増えたのでは。
委員	トップアスリートがトップアスリートを創ることで地域活性につながる。また、そのバックアップのスタッフ、トレーナーも必要であり、これらの人材バンクも必要である。
委員	スポーツドクター協会がある。しかし、まだ横のつながりがうまくいっていない。参加する場合にはお金がかかり、なかなか難しい。 ドクター協会で競技会に参加したい人もいるのだが、協会からの派遣は行っておらず、どこの競技会に行ってもよいか分からない。現在は、個人的な関係で競技会に参加している。
事務局	現在は、指導者や栄養士なども含めた、子供たちのためのコーディネーションスポーツへの取り組みが始まったばかりである。
委員	スポーツ意識を高めるため、例えば十日町ではトップレベルのサッカー合宿地にしたり、日本代表のレスリング合宿を行ったように、長岡においてトップクラスの選手が練習できるような、そういう施設を長岡ニュータウン運動公園において提案していました。 宿泊施設については、施設内に整備するのではなくとも、近場の宿泊施設を利用してもらえばよい。市民の興味を引くと思う。東京にオリンピックがあるかもしれない、そういうチャンスはこれからもある。施設計画をするに当たって盛り込んでもらいたいと思う。
事務局	以前にもご意見を頂いた。しかし、施設で呼び込むためには、中途半端な施設では無理であると考えます。
委員	例えばJビレッジなどでは、サッカー学校が開催されている。そういう呼び込みも一つの手である。ゴルフやバドミントンでもあると聞いている。エリート教育などがあることで、地域が活性化すると思う。
事務局	宿泊施設については、ざこ寝という方法もあるが、近隣にある施設などを活用すれば相乗効果となる。
委員	還暦野球は、太田市が発祥の地になっている。群馬県知事が、各市町村に還暦チームを作れ、と言ったことが始まりのようである。長岡市で積極的にやられてはどうか。積極的な取り組みが大切なのではないか。
委員	小国では個人で利用するということがあまりない。料金がかかってもよい、という考えが浸透しているので、できるだけ安く気軽に使えるような施設を作ってもらいたい。

委員	内容については、可もなく不可もなく総花的である。敵を作らなければこういう書き方かなと思う。一流選手を作るということであれば、全体のスポーツがナンバーワンになることはあり得ないわけで、何かを特化すべきであるが、様々なスポーツがあるので、例えば野球でいくとなれば他の競技団体から文句がでると思う。そこら辺をどう絞り込むのかを考える必要がある。施設整備の委員会であるので、廃止する施設はどういう基準をもって廃止するのかを納得できる形にしなければならない。悪者役になるであろうが、どのような基準で廃止するのかを盛り込んでいくべき。
事務局	廃止・統合については、構想の項目に入れるということがひとつのステップだと考える。また、長岡の特徴を出すということであれば、これから使用料の平準化を行ううえで、長岡は米百俵の街ですし、熱中！感動！夢づくり教育にも力を入れている訳ですので、子供たちの使用については無料にするなどの項目を、前向きに押し出せないかと考えている。
委員	雪国なので冬は屋外スポーツができない。通常のランニングやサイクリングがまったくできなくなる。神奈川では、体育館で走るということはありませんでした。雪が降らない地域からみるとハンディになっている。地域性に対するデメリットをどのように対応していくのが大切であるし、基本構想の中に盛り込んでもよいのではないかと。
委員長	長岡ニュータウン運動公園では、将来にドーム型の施設を検討するとのことである。
委員	ドーム型までやらなくてもよいが、小規模な屋内練習場でよいのではないかと。
事務局	富曾亀地区に屋根付き施設が整備された。このように補助金などを上手に活用した整備を行っていききたい。
委員	雪合戦やスキーなど地域ならではのスポーツがある。ハンディということではなく、地域でも工夫しており、プールにビニールハウスを覆って利用している所もある。
委員	競技する人たちは工夫をしながら自分でも鍛えられると思うが、スポーツをそれほどやらない中高年齢層などの方は、冬場にスポーツ意欲が減退しているのではないかと。
委員	移動の手段がないと外に出られない。運行バスなどがないと厳しいといった問題もある。
委員	循環バスなどのアイデアが必要である。
委員	雪合戦の全国大会をやってはどうか。
委員	富曾亀の屋根付き公園はスポーツ施設ではない。時間によっては使えるが、実に中途半端でありスポーツ施設には向いていない。フットサルをやっているようであるので、もっと工夫ができなかったのか。スポーツ振興課の管轄外であるため、その視点が入っていないのでは。スポーツ振興課の目からみればよい施設になったのでは、という部分も見られる。遊休地をスポーツ広場にするという取り組みがあるが、スポーツ振興課は関わっていないのだからと思う。施設整備については、スポーツ関係者が興味津々で見ている。スポーツ関係者が目を向けられるような横の連携や管轄外との連携などができないものか。
事務局	本来の目的を損なわないようにしながら、スポーツ施設として工夫や活用ができる施設はあると思うので、今後検討したい。
委員	今後の施設整備については、スポーツ施設リストに○△×を書くのかと思っていましたが、そういう検討は行わないのか。

事務局	スクラップアンドビルドの考え方が必要だとの意見も頂いている。必要だと思うが、個々の施設についてそれぞれ検討することは難しいと思う。
委員	子供の体力が非常に落ちている。新潟の体力データを整理しているが、体力が下げ止まりとなっている。子供たちにスポーツする環境を作り、周知させていくことはとても大切であり、長岡市が先駆けてやっていくことも大切である。スポーツ施設整備と併せて指導者などの人材育成を行っていけばとてもよい計画となる。子供のスポーツ振興のために、使用料負担を減らすことはとてもよい提案である。
委員	5月の会議でニュータウンについて整備スケジュールが出されていたが、予定どおりであるか。
事務局	当初の予定どおり、北側の一部分について、11月から粗造成を行う。スケジュールに遅れはない。 また、丘陵公園で有名な歌手のコンサートを行った時、3000台の臨時駐車場を整備した。今後も駐車場として使えるようである。
委員	長岡ニュータウン運動公園の住民の説明はいつか
事務局	10月16日の木曜日に、長岡ニュータウン運動公園の都市計画決定の地元説明会を行う。スポーツ施設の内容についても併せて意見をお聞きしたい。
事務局	開催日については、10月1日の市政だよりに載せており、班回覧板で廻している。
委員	班回覧板だけだと難しい。町内会長を通じた周知が必要。連合町内会でも議題に挙げるべき。
事務局	これは公園緑地課として説明する。それとは別にスポーツ振興課でも地元説明会を行いたい。それでも足りないのであれば、何度でも説明したい。
委員	住民の意見をもらう期間を取ったほうが良い。まずは、運動施設を建てるということを説明し、住民の意見を聞くという場を設けたほうがよい。
事務局	いただいた意見を参考に、今後の計画策定及び住民説明会についての計画を行いたい。
9 会議資料 別添のとおり	